

週刊 **新社会**

2017年2月号

発行所：新社会党 発行者：松核佳宏  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階  
TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963  
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 164円部150円 41円  
http://www.sinsyakai.or.jp E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

こんにちは

**新社会党** です

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

**暴走一日本**  
安倍総理大臣

**日米**  
**同盟**

**暴政一米国**  
トランプ大統領

安倍首相は1月20日、第193通常国会で施政方針演説をしました。おりしも同日(日本時間)にドナルド・トランプ米国大統領の就任演説と重なりました。「暴政」のトランプ大統領に対し「暴走」の安倍首相は「日米同盟が基軸」と強調しました。しかし、安倍・外交も内政も、すべての基軸は日本国憲法です。憲法を無視し、米トランプの「アメリカ第一主義」の暴政に追随する安倍内閣・自公政権を早期に退陣させましょう。そのために野党と庶民が力を合わせ、国会内外でたたかきましょう。

**安倍首相いわく**  
**安倍・外交の基軸は**  
**日米同盟**

安倍首相の施政方針演説は冒頭に「日米同盟は外交・安全保障政策の基軸」と「積極的平和主義」を強調する異例の演説となりました。

「国創り」の施策は後回しとされ、「おごり」と自画自賛の手柄話を基調に、行政の長たる総理大臣が憲法尊重義務を無視、立法府である国会に「改憲」を再び呼びかける有様です。また、20年オリンピック・パラリンピックに乗じて「テロなど組織犯罪への対策」とした4度目の憲法違反の「共謀罪」を名称変更で提案

することを表明しました。

トランプ大統領の米国第一主義の暴政を各国首脳は批判していますが、安倍首相は沈黙。安倍首相の暴走とトランプ大統領の暴政。これでは格差と貧困、戦争と飢饉の「日米同盟」に他なりません。

**国民いわく**  
**国内外の政治の基軸は**  
**日本国憲法**

日本国内外の国政の基軸は日本国憲法にあります。安倍・外交は憲法前文と9条を生かすことです。憲法25条、26条、27条をはじめとした国民の生きる権利を国は保障すべきです。いわんや、「日米同盟」の名

米国トランプの危ない、数々の「大統領令」抜粋

大統領令内容	問題点・危うさ
メキシコ全国境に壁を建設	不法移民対策とする排外主義政策推進
医療保険制度改革見直し	貧困層の保険医療サービスを見直しへ
妊娠中絶支援国際団体資金供給中止	女性の選ぶ権利制限、銃規制の緩和も？
中東等7か国難民等受入れ停止	移民・難民などはテロの温床と見なす
原油パイプライン建設	地球温暖化・環境悪化を促進

により米国の国益に引きずられるなど、とんでもありません。また、安倍首相の「改憲↓壊憲」の呼びかけは絶対に許せません。総がかりで止めましょう！

# 2017年度防衛予算案

# 米国の言い値で巨額の兵器買い

1月20日の安倍首相施政方針演説では、社会保障費の伸びを「5000億円以下に抑えることができた」と自画自賛しました。また、「先人たちが世界第3位の経済大国に創り上げてくれました」と述べましたが、その敬意は口先だけ、その報いは「高齢者」の社会保障費の削減です。

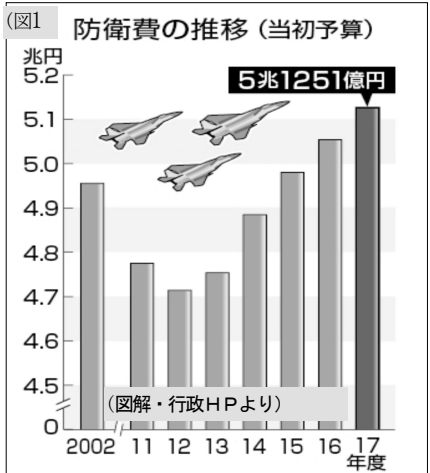
他方、安全保障や外交は「日米同盟が基軸」とし「海外で戦う自衛隊」を構想、自衛隊の軍事（防衛）予算は5年連続の増額です。安倍内閣の軍事費を「聖域」とした米国言い値の、高額で攻撃的な兵器への血税投入に反対しましょう。

**軍事費は5年連続増額**

2017年度軍事（防衛）予算案は前年度当初比1.4%増の5兆1251億円です。これで5年連続の増加となり過去最高を更新しました（図1参照）。軍事費の5年連続の増額の理由は、「厳しい安全保障環境」とし、中国・朝鮮を仮想敵国にして政治的軍事的緊張関係を緩和するどころか、日米の軍事的優位を保つためです。また「積極的平和主義」の名による自衛隊の海外派遣と武力行使を前提とした予算の増額です。

**攻撃的・海外用の兵器増強**

今回、防衛省の軍事（防衛）予算案をみると、旧来の「専守防衛」は影を潜め、攻撃的で遠距離で



使用可能な兵器が並びます。米国海兵隊を構想した自衛隊水陸機動団創設にともなう島嶼や海外での上陸作戦のための兵器が数多くみられます。ちなみに、危険な垂直離着陸輸送機とオスプレイは米海兵隊と陸軍が使用していますが、日本は先ず4機を導入予定です。オスプレイは従来の回転翼機に比べ、スピー

## 2017年度防衛予算案で新規導入する費用が莫大な兵器

兵器名称	購入数	購入予定価格
垂直離着陸輸送機	4機	393億円
オスプレイ		392億円 (関連費)
F35ステルス戦闘機	6機	946億円
		423億円 (関連費)
迎撃ミサイル PAC3 MSE	能力向上一部取得	1056億円
無人偵察機 グローバルホーク	1機	173億円
空中給油機 KC46A	11機	318億円
Xバンド衛星3号機	1機	1133億円
新型3000トン級潜水艦	1隻	760億円
合計		5594億円

(図2-2017年度防衛省予算より作成)

**平和外交で軍事費削減へ**

ドと航続距離が約2倍近く伸びます。それに空中給油機を加えれば、いつでも自衛隊の水陸機動団を「殴り込み部隊」として海外派遣できます。

安倍首相の「外的脅威」を鵜呑みにすれば、軍事費は際限もなく膨らみます。日本は周辺諸国との平和外交に徹すれば軍事費を削減できます。その予算を格差・貧困対策に使えます。

安倍内閣に「軍事費を社会保障費に回せ」と、声を大きく出しましょう。